



全国非開削普及協議会  
第13回定時総会の内容が月刊下水道11月号  
に掲載されました  
(P101 NEWSのページ)

## 全国非開削普及協議会： 平成28年度定時総会を開催 道路集水樹浸透化工法の採用広がる

全国非開削普及協議会は8月26日、東京・港区のメルパルク東京において平成28年度定時総会を開催した。

平成27年度同協議会では、推進工法および道路集水樹浸透化技術(EGSM工法)、マンホール浮上防止技術(インナーウエイト工法)のPR活動を全国展開するなどし、東京都杉並区や同世田谷区のほか兵庫県姫路市等での本格採用に結びつけた。平成28年度については、関東地区を重点地区に位置付けてEGSM工法等非開削技術の普及を図るほか、土壌汚染対策技術の開発と放射能汚染水の処理を含めた泥水処理技術の向上を図っていく方針だ。

総会冒頭に挨拶に立った岡本州雄会長は「局所的な集中豪雨による浸水被害や台風による洪水など、市民の安全や安心を脅かす災害が各地で発生している。雨水浸透施設の設置やマンホールの浮上防止



岡本会長

策等が国の施策として大変重要になってきた。当協議会では、コンパクトな小口径管推進工法や道路集水樹浸透化工法、マンホール浮上防止工法など、工事公害による住民負担を減少させ環境にやさしいこれら工法の普及を通じ、社会貢献していきたい」などと話した。



## 全国非開削普及協議会 第13回定時総会



水道産業新聞 2016年(平成28年)10月3日(月曜日)



水道産業新聞社  
大阪本社 電話(06)6373-3603  
FAX(06)6373-3633  
〒531-0072 大阪市北区豊崎2-7-9  
東京本社 電話(03)6435-7644  
FAX(03)3438-0025  
〒105-0003 東京都港区西新橋3-5-2

## 非開削3工法の受注拡大へ

全国非開削普及協議会 各種水処理技術の向上も  
及協議会総会

全国非開削普及協議会 港区のメルパルク東京で(会長)岡本州雄・スビ 第13回定時総会を開き、1ターレタル代表取締役 平成28年度事業計画・予算を決めた。また、役員選任を行い、岡本会長を再任した。



岡本会長

岡本会長は27年度の活動概況について「工法PR活動で特に注力した道路集水ます浸透化工法『EGSM工法』は採用

港区のメルパルク東京で平成28年度事業計画・予算を決めた。また、役員選任を行い、岡本会長を再任した。

28年度事業では、引き続き非開削工事や環境保全技術、EGSM工法のPR活動を全国的に展開する。特に関東・甲信越地区や関西・中国地区を重点地区としてPR活動

都市が着実に増加傾向にあり、東京都杉並区、世田谷区、姫路市、岡崎市で本格採用され、今後の需要増加が大いに期待できる」と説明した。また、28年度の方針について「非開削技術の3工法である推進工法、EGSM工法、マンホール浮上防止工法『インナーウエイト工法』の受注拡大、各種水処理技術の向上に努めていく」と述べた。

総会後には、前日本推進技術協会専務理事の石川和秀・全国ヒューム管協会専務理事が「推進技術(業界)の次なる進化への途」をテーマに講演。石川専務理事は「日本の推進技術は世界でトップだが、下請け体質から脱却しなければ明日はない」と訴えた。

に注力する。また、27年度の活動報告では、インナーウエイト工法について、フロートレス工法、ハットリソグ工法、浸透ドレーン工法などのコラボレーションの動きが活発化しており、今後の需要拡大が期待できるとした。

